

平成26年度

教育委員会事務点検評価報告書

(主要施策の成果に関する説明書)

平成27年8月

岩手県教育委員会

目 次

いわて県民計画第2期アクションプラン[政策編]の取組と成果	1
政策Ⅴ 教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現	5
政策項目No.24 家庭・地域との協働による学校経営の推進	7
政策項目No.25 児童生徒の学力向上	10
政策項目No.26 豊かな心を育む教育の推進	14
政策項目No.27 健やかな体を育む教育の推進	18
政策項目No.28 特別支援教育の充実	20
政策項目No.29 生涯を通じた学びの環境づくり	23
政策項目No.31 文化芸術の振興	25
政策項目No.33 豊かなスポーツライフの振興	29
政策項目No.38 安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備	32

いわて県民計画

第2期アクションプラン[政策編]の 取組と成果

岩手県では、平成21年12月に、「いわて県民計画（長期ビジョン）」（計画期間：平成21年度～平成30年度）を策定し、平成24年1月にこの計画の第2期アクションプランとして、平成23年度～平成26年度の4年間を対象とした「いわて県民計画第2期アクションプラン[政策編]」を策定しました。

いわて県民計画第2期アクションプラン[政策編]は、「政策－施策－事業」の体系により計画を推進していくものであり、政策項目（政策）には「目指す姿指標」、目指す姿を達成するための具体的な推進方策（施策）には「具体的な推進方策指標」という数値目標を掲げています。

この報告書は、いわて県民計画第2期アクションプラン[政策編]で定めた目標がどれだけ達成できたかという視点で、教育委員会の平成26年度の事務事業の実績を評価したものであり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に定める点検及び評価結果の報告書となるものです。

- ・ いわて県民計画第2期アクションプラン[政策編]の7つの政策のうち、V教育・文化について、また、42の政策項目のうち、教育委員会が所管する7つの政策項目（政策項目No. 24～No.29・No.33）及び他部局主管項目のうち、教育委員会関係部分（No. 31・No. 38）について掲載しています。（他部局に係る記載部分は網掛けとしています。）
- ・ 目指す姿指標と推進方策指標の平成26年度実績に基づく「達成度」の考え方は、次のとおりです。

達成度の区分	年度目標達成度	■達成度 平成26年度にどれくらい達成したかを示す割合 ■達成度の計算方法 $\frac{(\text{H26実績値} - \text{H22現状値})}{(\text{H26目標値} - \text{H22現状値})} \times 100$ ※ 例外的に、基準値よりも数値を下げることを目標とする指標は、次の計算式で算出 $\frac{(\text{H22現状値} - \text{H26実績値})}{(\text{H22現状値} - \text{H26目標値})} \times 100$
達成 (A)	100%以上	
概ね達成 (B)	80%以上100%未満	
やや遅れ (C)	60%以上80%未満	
遅れ (D)	60%未満	

- ・ 数値を下げることを目標とする指標には、指標名の前に「▼」を表示しています。
- ・ 数値を維持することを目標とする指標には、指標名の前に「★」を表示しています。
- ・ 指標によっては、実績値が確定していない、平成26年度目標値を設定していないなどの理由で、数値や達成度を「－」としている場合があります。

本書の見方

本書では、7つの政策とそれを構成する42の政策項目のうち、教育委員会が所管する政策V教育・文化と7政策項目及び他部局主管の政策項目で教育委員会が関係する2政策項目について、指標の達成状況や目指す姿の実現に向けた教育委員会の取組状況などの詳細情報を掲載しています。

○ 棒グラフの数字

平成26年度の目標に対する進捗率(%)を表示

【計算式】

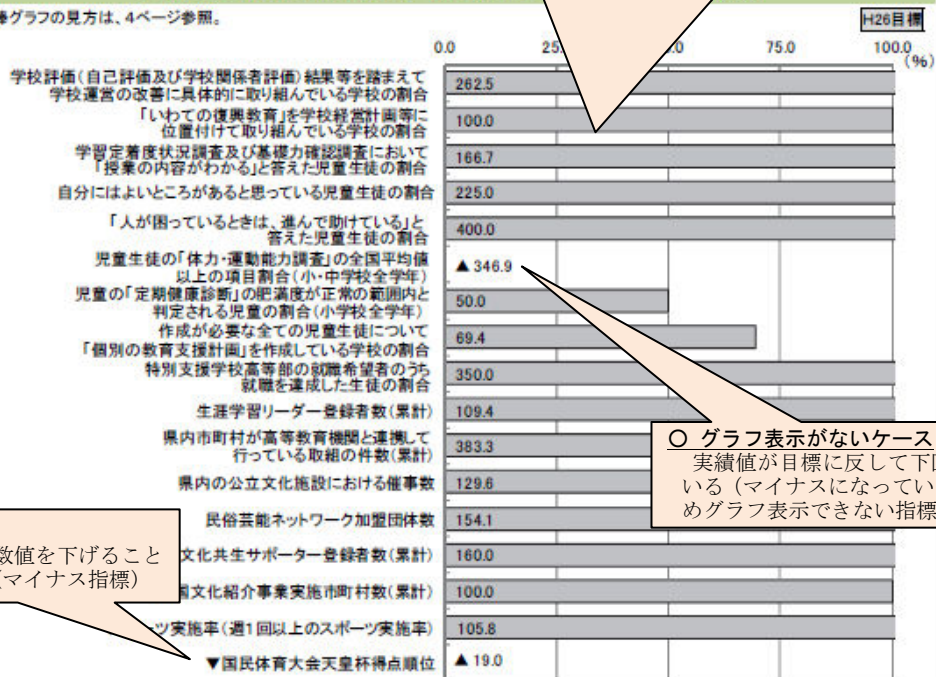
- ・通常の指標 (H26 実績値 - H22 現状値) / (H26 目標値 - H22 現状値) × 100
- ・マイナス指標 (H22 現状値 - H26 実績値) / (H22 現状値 - H26 目標値) × 100
- ・維持指標等 (H26 実績値) / (H22 現状値等) × 100

※ 震災を踏まえた目標設定とした場合など、この計算式により難しい場合は、次の計算式により算出しています。

$$(H26 \text{ 実績値}) / (H26 \text{ 目標値}) \times 100$$

平成26年度目標に対する目指す姿の実況

※ 棒グラフの見方は、4ページ参照。



○ 指標名の「▼」

H22 現状値より数値を下げることを目標とする指標(マイナス指標)

○ グラフ表示がないケース

実績値が目標に反して下回っている(マイナスになっている)ためグラフ表示できない指標

主な取組事項

- 「いわての復興教育」の推進
「いわての復興教育」プログラム(改訂版)に基づいた教育副読本「いきる かかわる そなえる」を、県内の全ての公立小学校・中学校・特別支援学校に配布するとともに、「いわての復興教育」を推進できるように、各学校の取組を支援しました。
- 数学(算数)・英語の学力向上
学校訪問や各種研修会等において、授業目標の達成に向けた取組を支援しました。
- 「いわてキャリア教育指針」に基づくキャリア教育の実践
「いわてキャリア教育の手引き」を活用するとともに、小中高校の教員を対象とした「いわてのキャリア教育実践研修講座」を開催し、本県にふさわしいキャリア教育を推進する体制づくりに取り組みました。
- 私立学校の特色ある教育活動の推進
私立学校がそれぞれの建学の精神に基づき実施する特色ある教育活動について、情報提供や助成等により、目標設定とその達成に向けた取組を支援しました。
- 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進
小中学校教育課程協議会等で、道徳の教科化に向けた改善の方針等について説明するとともに、道徳教育の充実のための重点を示し、学校の組織的な取組を支援しました。
また、読書ボランティアや図書館・学校関係者等対象の研修会を開催し、スキルアップや連携協力による読書環境整備を推進するとともに、ブックリストを作成、配布するなど、児童生徒の主体的、意欲的な読書活動の推進に取り組みました。

○ 主な取組事項

政策の目指す姿を達成するために取り組んだ主な内容を取りまとめて記載

○ 具体的な推進方策投入コスト

「みんなで目指す姿」の実現に向けて、平成 26 年度に県が実施した具体的な推進方策に係る投入コスト

○ 「事業数」「予算額」「決算額」

事業数：各推進方策を構成する事業数
 予算額：平成 26 年度最終予算額
 決算額：平成 26 年度決算額
 ※ 事業数、予算額及び決算額には、再掲事業は含みません。

○ 決算額の財源内訳

国 庫：国庫補助金等
 その他：材料及び手数料、財産収入等
 県 債：県が発行する債券
 一 般：一般財源

○ 政策名

「アクションプラン
 [政策編]」に掲げる 7
 つの政策

○ 政策項目名

7つの政策に掲げる 42
 の政策項目

○ みんなで目指す姿

県民の皆さんとともに目指す政策項目の目標（H26 までに目指す状態を説明）

政策項目 No.	29
政策項目名	教育・文化 政策項目No.29：生涯を通じた学びの環境づくり
1 みんなで目指す姿	県民一人ひとりが生涯にわたって自己実現を目指し、多様な機会を通じて学び、その学びの成果を生かすことが、生きがいづくりにつながり心豊かな生活になるとともに、郷土いわてに誇りを持ち愛着を深めています。

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 学習活動を支援する環境の充実	0	0	0	0	0	0	0
(2) 生涯にわたる学習機会の充実	0	0	0	0	0	0	0

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
65 生涯学習リーダー [※] 登録者数(累計)	人	614	720	730	A	D	A	A

● 生涯学習リーダー登録者数(累計)の達成度は【A】となりました。
 ● 具体的な推進方策指標4指標は、「達成」が3指標(75%)、「やや遅れ」が1指標(25%)となりました。

【用語解説】
 ※1 生涯学習リーダー
 教養・文化、スポーツ・健康、ビジネスライフ、パソコン、学術一般、現代的課題の各分野において、生涯学習を推進する指導者として県立生涯学習推進センターに登録され、かつ県民に社会教育事業の活用を奨励している方。

○ 目指す姿指標

県民の皆さんとともに目指す政策項目の最終成果指標

○ 丸数字

1年遅れでしか実績値が把握できない指標など、表題の年度以外の場合はその実績値の年度を丸数字で表示
 【例②⑤：平成 25 年度】

※達成度(H23)、(H24)及び(H25)は、確定した平成 24 年度実績値による達成度を表していますので、平成 25 年度の本書における本欄と異なるものがあります。

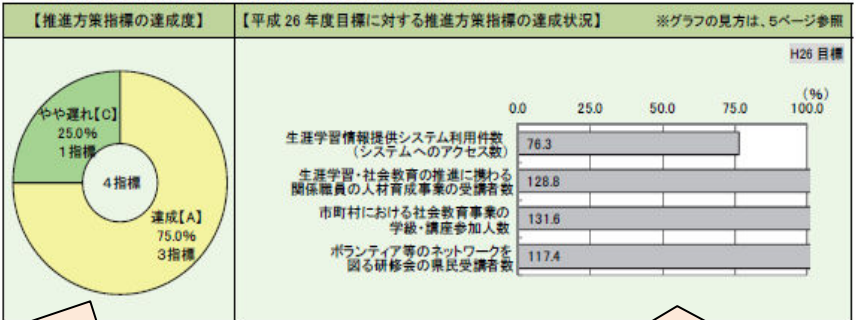
○ 特記事項

関連する社会経済情勢や県民意識調査結果など、当該政策項目を取り巻く状況について記載

○ 説明欄

政策項目の取組状況について、指標データなどにより説明

3 目指す姿を達成するための取組(県の具体的な推進方策)



○ 円グラフ

推進方策指標の達成度ごとの構成比と指標数を表示
 ※ 構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。

○ 推進方策指標の達成度

平成 26 年度目標に対して、どれくらい達成したかを示す割合

○ 達成度の計算方法

- ① 通常の指標 (H22 現状値から数値を上げる目標の場合)
 $(H26 \text{ 実績値} - H22 \text{ 現状値}) / (H26 \text{ 目標値} - H22 \text{ 現状値}) \times 100$
- ② マイナス指標 (H22 現状値から数値を下げる目標の場合)
 $(H22 \text{ 現状値} - H26 \text{ 実績値}) / (H22 \text{ 現状値} - H26 \text{ 目標値}) \times 100$
- ③ 維持指標等 (H22 現状値等を維持する目標等の場合)
 $(H26 \text{ 実績値}) / (H22 \text{ 現状値等}) \times 100$

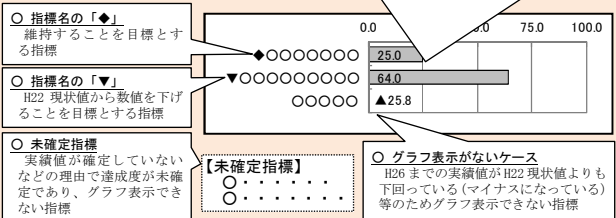
※ ①、②に該当するものの、震災を踏まえた目標設定としたこと等により①、②の計算方法により難しい場合は、③の計算方法により判定しています。

○ 推進方策指標の進捗状況

棒グラフは、平成 26 年度の目標に対する進捗率 (%) を表示

○ 棒グラフの数字

- 【計算式】
- ・ 通常の指標 $(H26 \text{ 実績値} - H22 \text{ 現状値}) / (H26 \text{ 目標値} - H22 \text{ 現状値}) \times 100$
 - ・ マイナス指標 $(H22 \text{ 現状値} - H26 \text{ 実績値}) / (H22 \text{ 現状値} - H26 \text{ 目標値}) \times 100$
 - ・ 維持指標等 $(H26 \text{ 実績値}) / (H22 \text{ 現状値等}) \times 100$
- ※ 震災を踏まえた目標設定とした場合など、この計算式によりがたい場合は、以下の計算式により算出しています。
 $(H26 \text{ 実績値}) / (H26 \text{ 目標値}) \times 100$



※ 過去のデータについては、これまでの公表の後の精査により修正等をしているものがあります。

○ 具体的な推進方策指標

県が主体となって取り組む具体的な推進方策の目標（成果指標）

○ 丸数字

1年遅れでしか実績値が把握できない指標など、表題の年度以外の場合はその実績値の年度を丸数字で表示

【例②⑤：平成25年度】

○ 推進方策を構成する事業実績

具体的な推進方策を構成する事務事業の投入コストや活動実績、成果指標の状況について掲載

○ 事業名

例：○○事業(△△事業)【□□課】

【凡例】

- ：H26 事業名
- △△：H26 事業の細事業名
- ：担当室課名（H26 時点）

(1) 学習支援する環境の充実

○具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	達成度		
				(H23)	(H24)	(H25)
247 生涯学習情報提供システム ^{※2} 利用件数 (システムへのアクセス数)	件	30,778	30,710	C	A	A
248 生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の受講者数	人	2,867	3,734	A	A	B

- 生涯学習情報提供システム利用件数（システムへのアクセス数）については、市町村のホームページや広報等による生涯学習に係る講座・イベントの提供が充実したことにより、当該生涯学習情報提供システムへの講座・イベント等の掲載が充実したため、達成度は【C】となりました。
- 生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の受講者数の達成度は【A】となりました。

【用語解説】

※2 生涯学習情報提供システム
県が推進する生涯学習施策及び社会教育施策の紹介や事例をはじめ、市町村における各事業等、県民に対し生涯学習に係る情報を提供するホームページ。

○推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画期間	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	計画値	実績値	達成度	指標名	単位	平成26年度		
											目標値	実績値	達成度
再	★	岩手県教育委員会(家庭教師子育て支援推進事業)(生涯学習文化推進)	(3,477)	子育て電話相談、メール相談窓口の開設日数	日	365	365	A	子育て相談ニーズへの対応件数(累計)	件	8,800	8,959	A
再	★	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業(生涯学習文化推進)	(238,062)	学校支援地域本部数	本部	50	44	B	学校支援ボランティア数	人	6,000	8,129	A
				職業教育の啓蒙策の開催回数(累計)	回	24	24	A	新設後の公的な居場所がある公民館の割合	%	86.1	91.0	A
				学校、家庭、地域の連携による促進委員会の開催回数(累計)	回	18	18	A	中学生の学習支援設置箇所数	箇所	19	19	A
				委託事業実施市町村数	市町村	30	30	A	-	-	-	-	-

○ 説明欄

具体的な推進方策の取組状況について、指標や構成事業のデータにより説明

○ 達成度（「活動内容指標」「成果指標」）

(実績値÷計画値又は目標値)×100の計算結果により判定

※ 事務事業の成果指標が推進方策指標と同じ場合は、推進方策指標の計算式による。

※ 計画値、目標値が震災等の影響により設定できなかった場合または実績値が未確定等の場合は「-」と表示

○ 区分

区分欄に表記している文字は、以下の事業を表わしています。

再：主掲事業の再掲

緊：緊急雇用基金の充当事業

○ 復興計画関連

岩手県東日本大震災津波復興計画における復興実施計画に掲げられる事業について★印を表示

参考1：達成度の判定区分

達成度	目標達成度
達成【A】	100%以上
概ね達成【B】	80%以上 100%未満
やや遅れ【C】	60%以上 80%未満
遅れ【D】	60%未満

※原則は左欄により判定を行っていますが、計画策定時から指標を取り巻く状況が著しく変化したことにより、これまでの基準に従って達成度を判定することが適当でなくなった場合は、達成度欄に「-」と表示のうえ、説明欄で状況を説明しています。

参考2：本説明書で用いる記号

○ 指標名等で用いる記号

「▼」:H22 現状値から数値を下げることを目標とする指標(マイナス指標)

「◆」:H22 現状値等を維持することを目標とする指標(維持指標)

(記号を付していないものは、H22 現状値から数値を上げることを目標とする指標(通常の指標)を示す)

○ 事業実績で用いる記号

「★」:岩手県東日本大震災津波復興計画における復興実施計画に掲げられる事業

○ 達成状況のグラフで用いる記号

「▲」:実績値がH22 現状値を下回っている(マイナスになっている)割合

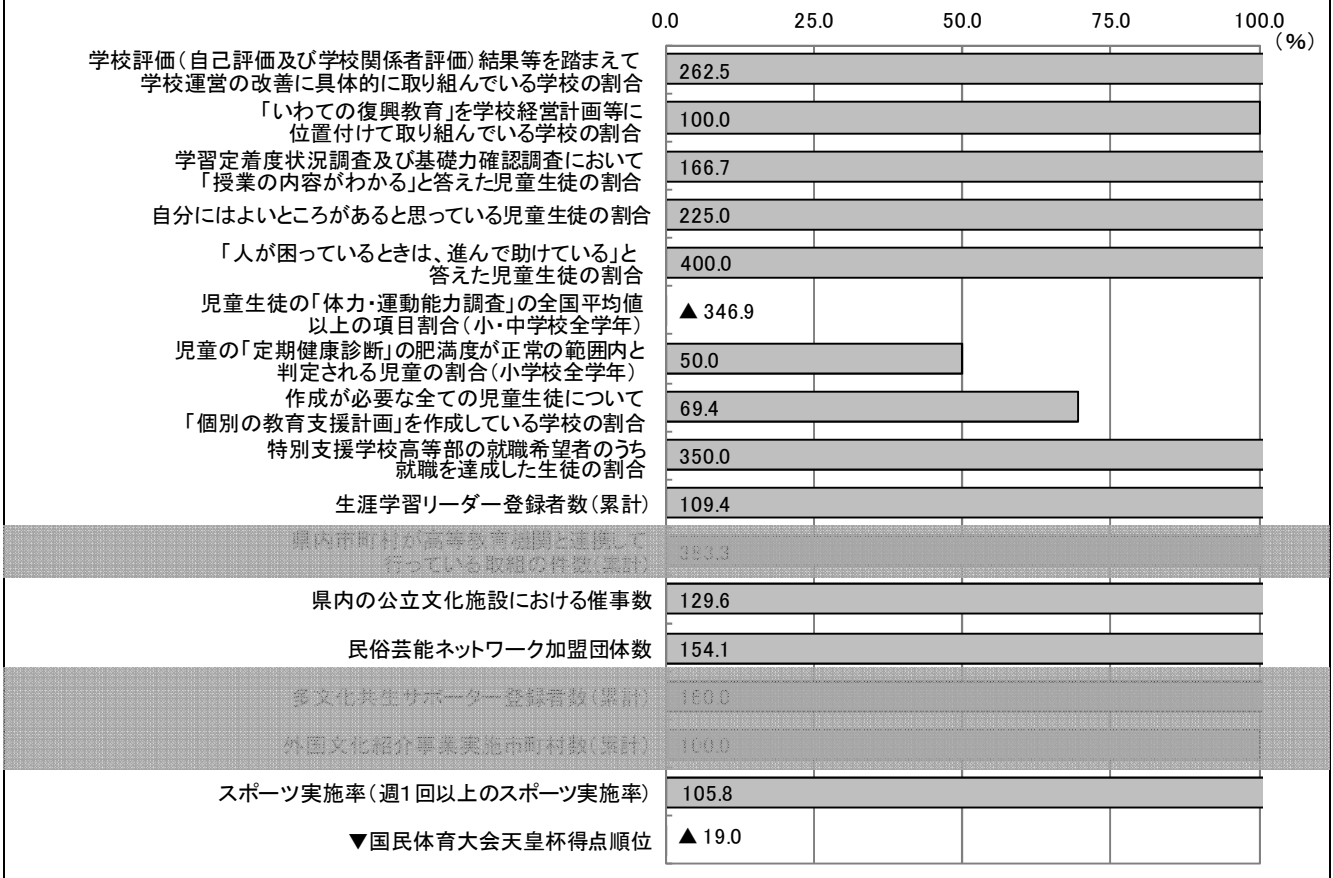
※ 過去のデータについては、これまでの公表の後の精査により修正等をしているものがあります。

V 教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～

平成26年度目標に対する目指す姿指標の達成状況

※ 棒グラフの見方は、2ページ参照。

H26目標



主な取組事項

■「いわての復興教育」の推進

「いわての復興教育」プログラム(改訂版)に基づいた復興教育副読本「いきる かかわる そなえる」を、県内の全ての公立小学校・中学校・特別支援学校に配架するとともに、「いわての復興教育」を推進できるように、各学校の取組を支援しました。

■数学(算数)・英語の学力向上

学校訪問や各種研修会等において、授業目標の設定例や授業改善計画等を示し、各学校の授業改善の取組を支援しました。

■「いわてキャリア教育指針」に基づくキャリア教育の実践

「いわてキャリア教育の手引き」を活用するとともに、小中高校の教員を対象とした「いわてのキャリア教育実践研修講座」を開催し、本県にふさわしいキャリア教育を推進する体制づくりに取り組みました。

■道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

小中学校教育課程協議会等で、道徳の教科化に向けた改善の方針等について説明するとともに、道徳教育の充実のための重点を示し、学校の組織的な取組を支援しました。

また、読書ボランティアや図書館・学校関係者等対象の研修会を開催し、スキルアップや連携協力による読書環境整備を推進するとともに、ブックリストを作成、配布するなど、児童生徒の主体的、意欲的な読書活動の推進に取り組みました。

■教育相談機能の充実

不登校の未然防止や適切な対応を図るため、各教育事務所に配置しているスクールソーシャルワーカーの増員を行い、関係機関等と連携した福祉的な視点による教育相談体制の充実に取り組みました。

■指導者の資質向上・授業力向上

体力向上指導者研修会や運動部活動指導者研修会等を開催し、運動やスポーツの楽しさを味あわせることの重要性について共通理解を図るとともに、効果的な指導の普及に取り組みました。

■県民と協働した特別支援教育体制づくり

特別支援学校において県民を対象としたボランティア養成講座を開講し、講座終了後に特別支援ボランティアとして登録する人を増やすとともに、各校種での活用に取り組みました。

■生涯にわたる学習機会の充実

生涯にわたる学習機会の充実のため、学びの情報提供や啓発活動、地域人材の育成や活用を図るとともに、被災した社会教育施設の復旧支援に取り組みました。

■豊かな創造性のかん養と文化芸術活動への支援

児童・生徒の豊かな創造性のかん養と芸術普及のため、新進・若手芸術家等を派遣し、小中学校での芸術鑑賞の充実に取り組みました。

■スポーツの環境づくりと地域に根ざしたスポーツ振興の推進

住民に様々なスポーツ機会を提供する総合型地域スポーツクラブを育成するため、核となるマネージャー対象の研修会を実施するとともに、専門の指導員を派遣し、運営面や指導面に対する助言を行いました。

また、地域のスポーツ指導者を登録したマッチングサイトを運営し、登録指導者を地域スポーツ活動に活用する事業に取り組みました。

■中長期的な視点に立った選手育成や指導者養成の推進

第71回国民体育大会をはじめとして、各種全国大会で本県選手が上位入賞を果たせるよう、各種強化事業に取り組みました。

V 教育・文化

政策項目No.24：家庭・地域との協働による学校経営の推進

1 みんなで目指す姿

「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現に向けて、学校評価を学校経営計画の改善に生かしながら、家庭・地域との協働による目標達成型の学校経営が行われています。

また、東日本大震災津波の経験を力として、県内全ての学校で「いわての復興教育」※¹に取り組み、岩手の復興・発展を担う子どもたちが育まれています。

【用語解説】

※1 いわての復興教育

東日本大震災津波による被災体験を踏まえ、県内全ての学校がそれぞれの実情に応じて取り組むことができる教育プログラムを作成・普及することにより、子どもたち自らの未来を切り拓く力を育むとともに、県内の全ての学校が心を1つにして震災を見つめ、岩手の復興・発展を担う「ひとづくり」を進めていくための教育。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 目標達成型の学校経営の推進	0	0	0	0	0	0	0
(2) 学校と家庭・地域との協働の推進	1	252,197	238,082	238,082	0	0	0
(3) 「いわての復興教育」の推進	6	63,211	61,349	29,688	25,738	0	5,923

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

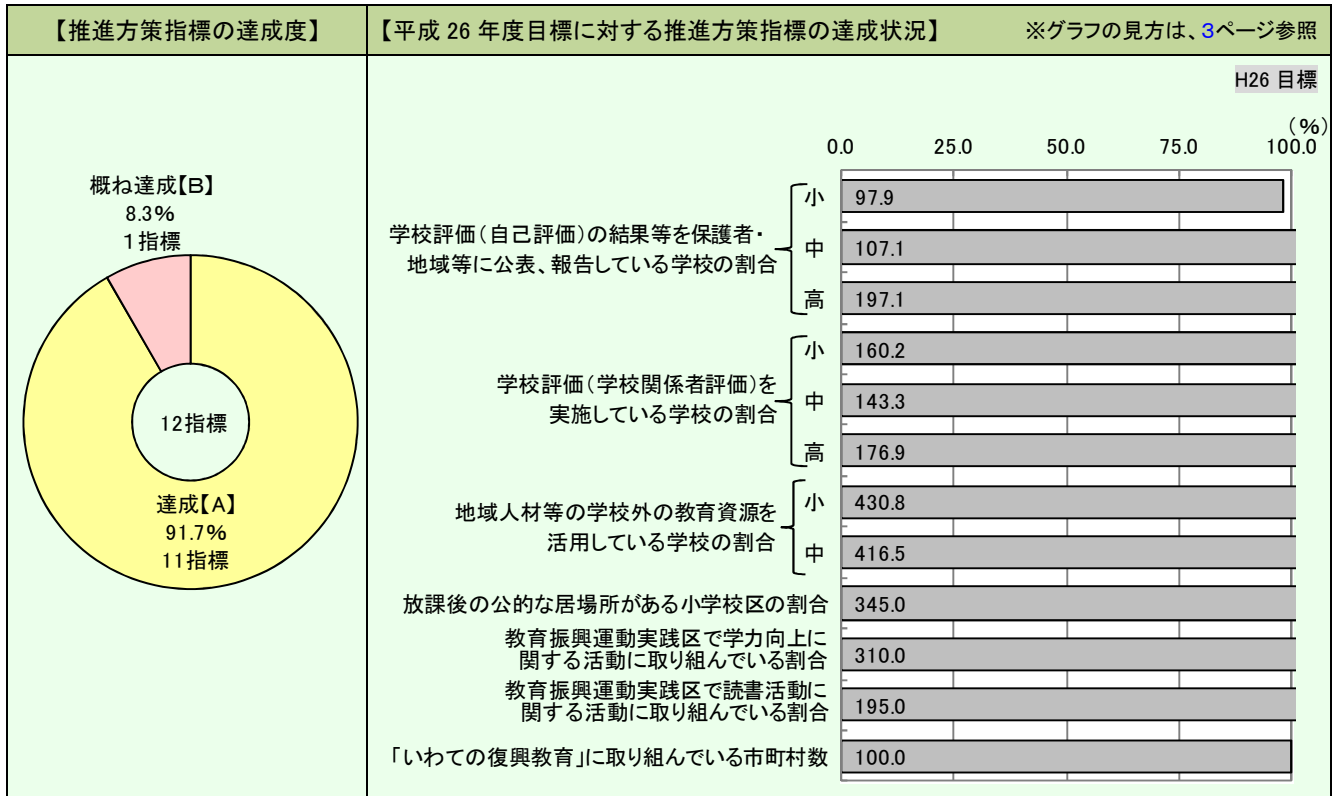
指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度			
						(H23)	(H24)	(H25)
56 学校評価(自己評価及び学校関係者評価)結果等を踏まえて学校運営の改善に具体的に取り組んでいる学校の割合	%	②0 58	74	100	A	A	A	A
57 「いわての復興教育」を学校経営計画等に位置付けて取り組んでいる学校の割合	%	—	100	100	A	—	A	A

- 学校評価(自己評価及び学校関係者評価)結果等を踏まえて学校運営の改善に具体的に取り組んでいる学校の割合及び「いわての復興教育」を学校経営計画等に位置付けて取り組んでいる学校の割合の達成度は【A】となりました。
- 具体的な推進方策指標 12 指標は、全て「達成」・「概ね達成」となりました。

特記事項

- 平成 27 年県民意識調査によると、「学校と地域との協力」の重要度は 22 位、満足度は 15 位となり、ニーズ度は 27 位となっています。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) 目標達成型の学校経営の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
191 学校評価（自己評価）の結果等を保護者・地域等に公表、報告している学校の割合	%	②小 80.6	90	89.8	B	A	A	A
192		②中 80.2	90	90.7	A	A	A	A
193		②高 79.7	90	100.0	A	A	A	A

- 学校評価（自己評価）の結果等を保護者・地域等に公表、報告している学校の割合は、小学校の達成度は【B】、中学校及び高等学校の達成度は【A】となりました。

(2) 学校と家庭・地域との協働の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
194 学校評価（学校関係者評価）を実施している学校の割合	%	②小 65.9	85	96.5	A	A	A	A
195		②中 65.6	85	93.4	A	A	A	A
196		②高 77.0	90	100.0	A	A	A	A
197 地域人材等の学校外の教育資源を活用している学校の割合	%	小 73.8	79	96.2	A	—	A	A
198		中 40.7	51	83.6	A	—	A	A
199 放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	84.1	86.1	91.0	A	A	A	A
200 教育振興運動※2実践区で学力向上に関する活動に取り組んでいる割合	%	74	82	98.8	A	D	A	A
201 教育振興運動実践区で読書活動に関する活動に取り組んでいる割合	%	84	92	99.6	A	D	A	A

- 学校評価（学校関係者評価）を実施している学校の割合は、小学校、中学校、高等学校のいずれも達成度は【A】となりました。
- 地域人材等の学校外の教育資源を活用している学校の割合は、小学校、中学校ともに達成度は【A】となりました。
- 放課後子ども教室※3等の放課後の公的な居場所がある小学校区の割合、教育振興運動実践区で学力向上に関する活動に取り組んでいる割合及び教育振興運動実践区で読書活動に関する活動に取り組んでい

る割合の達成度はいずれも【A】となりました。

【用語解説】

※2 教育振興運動

岩手において昭和40年から始まり、全ての市町村に推進組織が置かれ、学区や公民館区など計489の実践区（平成22年度現在）において、子ども、親、学校、地域、行政の5者が一体となり、地域の教育課題を解決するために自主的に行われている実践活動の総称。

※3 放課後子ども教室

子どもたちが放課後や週末に安全・安心に活動できる拠点（居場所）。地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等を子どもたちに提供。小学校の余裕教室や公民館等を活用して市町村が実施。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
雇	★	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業【生涯学習文化課】	238.082	学校支援地域本部数	本部	50	44	B	学校支援ボランティア数	人	6,000	8,129	A		
				指導者等の研修会の開催回数(累計)	回	24	24	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	86.1	91.0	A		
				学校、家庭、地域の連携による促進委員会の開催回数(累計)	回	16	16	A	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	19	19	A		
				委託事業実施市町村数	市町村	30	30	A	-	-	-	-	-		

(3) 「いわての復興教育」の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
202 「いわての復興教育」に取り組んでいる市町村数	市町村	-	33	33	A	-	A	A

● 「いわての復興教育」に取り組んでいる市町村数の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
	★	いわての復興教育推進支援事業費【学校教育室】	21.763	復興教育取組推進校数	校	70	70	A	取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A		
				復興交流推進取組実施校数	校	82	82	A	取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A		
	★	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】	3.901	進学支援対策講座等の実施校数	校	7	7	A	進学支援対策講座等の受講者数	人	250	800	A		
				進路実現取組実施校数	校	10	10	A	事業目的の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A		
	★	県立学校復興担い手育成支援事業費(復興を担う専門人材育成支援事業)【学校教育室】	3.098	復興担い手育成支援事業取組実施校数	校	6	6	A	事業目的の成果があった学校の割合	%	100	100	A		
	★	実践的防災教育総合支援事業費【学校教育室】	4.827	緊急地震速報受信システム設置校	校	4	4	A	緊急地震速報受信システムを活用した避難訓練(学習会)の実施回数	回	4	4	A		
				学校防災アドバイザー派遣校	校	30	23	C	避難訓練や危機管理マニュアルの見直しを行った学校数	校	30	23	C		
				災害ボランティア活動実施校	校	10	9	B	災害ボランティア活動への参加生徒数	人	1,050	1,100	A		
	★	復興教育・防災教育推進事業費【学校教育室】	25.738	復興教育研修会の開催回数	回	6	6	A	研修者の理解度	%	100	100	A		
				復興教育副読本の作成種類	種類	3	3	A	研修のねらいを達成した研修者の割合	%	100	100	A		
				防災教育研修会の開催回数	回	1	1	A	-	-	-	-			
	★	防災教育推進事業費【学校教育室】	2.022	防災教育研修会の開催回数	回	1	1	A	研修受講者の理解度	%	80	90	A		
				防災教育の普及啓発のための学校訪問数	校	115	97	B	県の指針を活用し、自校の防災体制を見直した学校数	校	115	97	B		

V 教育・文化

政策項目No.25：児童生徒の学力向上

1 みんなで目指す姿

各学校において分かりやすい授業が行われることにより、児童生徒一人ひとりに基礎・基本が定着^{※1}し、目指す進路を実現できる知識や技能が身に付いているとともに、自立した社会人になっていくために必要な総合力が身に付いています。

【用語解説】

※1 基礎・基本が定着

知識の習得とそれを活用する力、物事をしっかり考える力が身に付くこと。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 数学(算数)・英語の学力向上	9	218,675	216,359	7,489	177	0	208,693
(2) 授業改善の推進と家庭学習の充実	5	422,234	420,837	822	3,308	0	416,707
(3) 特色ある教育課程の編成	0	0	0	0	0	0	0
(4) 「いわてキャリア教育指針」に基づくキャリア教育 ^{※2} の実践	3	15,814	15,288	0	0	0	15,288

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度			
						(H23)	(H24)	(H25)
58 学習定着度状況調査及び基礎力確認調査において、「授業の内容がわかる」と答えた児童生徒の割合	%	64	67	69	A	A	A	A

- 学習定着度状況調査及び基礎力確認調査において、「授業の内容がわかる」と答えた児童生徒の割合の達成度は【A】となりました。(小学校 89%、中学校 71%、高等学校 58%)
- 具体的な推進方策指標 18 指標は、全て「達成」・「概ね達成」となりました。

特記事項

- 平成 27 年県民意識調査によると、「子どもの学力向上に向けた教育」の重要度は 20 位、満足度は 17 位となり、ニーズ度は 25 位となっています。

【用語解説】

※2 キャリア教育

児童生徒一人ひとりの勤労観・職業観を育てる教育。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）

【推進方策指標の達成度】	【平成 26 年度目標に対する推進方策指標の達成状況】	※グラフの見方は、3ページ参照
<p>概ね達成【B】 6.2% 1指標</p> <p>16指標 達成【A】 93.8% 15指標</p>	<p>H26 目標 (%)</p> <p>0.0 25.0 50.0 75.0 100.0</p> <p>学習定着度状況調査結果及び基礎力確認調査結果目標を設定し計画的に取り組んでいる学校の割合</p> <p>わかりやすい授業の工夫・改善に計画的に取り組んでいる学校の割合</p> <p>教員相互の参観等による授業改善に積極的に取り組んでいる学校の割合</p> <p>授業内容の理解を促進する家庭学習の課題(宿題)を計画的に出している学校の割合</p> <p>小学校と中学校との連携(小中連携、小中一貫)を推進するための方針や計画を作成している市町村数</p> <p>各学校が設定した進路目標を達成した高等学校の割合</p> <p>インターンシップを実施した高等学校の割合</p> <p>中学校における職場体験(2日以上)を実施した学校の割合</p> <p>目標を掲げ、具体的な指針づくりを行った高等学校の割合</p> <p>学力向上に関わる教育改革活動の高等学校における実施率</p>	<p>小 114.3</p> <p>中 102.5</p> <p>高 111.1</p> <p>小 102.5</p> <p>中 107.1</p> <p>高 107.8</p> <p>小 125.1</p> <p>中 101.2</p> <p>高 120.9</p> <p>小 220.0</p> <p>中 258.2</p> <p>高 147.6</p> <p>100.0</p> <p>150.0</p> <p>118.3</p> <p>89.5</p> <p>100.0</p> <p>115.8</p>

(1) 数学(算数)・英語の学力向上

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値(H22)	計画目標値(H26)	実績値(H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
203 学習定着度状況調査結果及び基礎力確認調査結果について目標を設定し計画的に取り組んでいる学校の割合	%	小 74 中 70 高 -	95 90 90	98 91 100	A A A	D D -	D D A	A C A

- 学習定着度状況調査結果及び基礎力確認調査結果について目標を設定し計画的に取り組んでいる学校の割合は、小学校、中学校、高等学校のいずれも達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額(千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		外国青年招致事業費(外国語指導助手(ALT)招致事業【学校教育室】)	45,451	外国語指導助手(ALT)の招致人数	人	10	10	A	ALTが週1回以上授業した県立学校の割合	%	19	19	A
		いわて進学支援ネットワーク事業費【学校教育室】	20,279	東大対策講座への参加校数(3年生)	校	5	9	A	東大対策講座の受講者数(3年生)	人	50	70	A
				医学部進学セミナーへの参加校数(1,2年生)	校	10	13	A	医学部進学セミナーの受講者数(1,2年生)	人	100	130	A
				二次重視大学対策講座への参加校数(3年生)	校	24	24	A	二次重視大学対策講座の受講者数(3年生)	人	470	520	A
				センター重視大学対策講演会への参加校数(1・2年生)	校	40	54	A	センター重視大学対策講演会の受講者数(1・2年生)	人	420	600	A

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
		外国語教育推進事業費【学校教育室】	134,041	業務委託の外国語指導助手(NS)の委託人数	人	29	29	A	NSが週1回以上授業した県立学校の割合	%	81	81	A		
		中高連携英語力向上推進事業費【学校教育室】	7,128	英語能力判定テストを受ける中学生の割合	%	100	100	A	NSの授業実施校数	校	68	88	A		
		指導運営費(英語力等外国語能力強化事業)【学校教育室】	1,713	改善研修会の開催回数	回	2	2	A	英検3級レベルを身につけている中学3年生の割合	%	32	38	A		
		指導運営費(いわて高校生留学促進事業)【学校教育室】	4,436	改善研修会の開催回数	回	6	8	A	改善研修会を受講する中学校教員の数	人	165	165	A		
		高校数学活性化プロジェクト事業費【学校教育室】	1,411	拠点校英語集中講座実施校数	校	2	2	A	改善研修会を受講する高校教員の数	人	100	100	A		
		指導運営費(スーパーグローバルハイスクール推進事業)【学校教育室】	560	グローバル人材育成のための講師派遣事業実施校数	校	10	12	A	拠点校英語集中講座を実施する校数	校	2	2	A		
		英語教育強化地域拠点事業【学校教育室】	1,340	数学・授業実践セミナー開催回数	回	5	5	A	拠点校英語集中講座の生徒・教員の参加者数	名	100	100	A		
		指導運営費(スーパーグローバルハイスクール推進事業)【学校教育室】	560	スーパーグローバルハイスクール事業を推進する学校数	校	1	1	A	グローバル人材育成のための講師派遣事業参加生徒数	人	1,000	2,085	A		
		英語教育強化地域拠点事業【学校教育室】	1,340	小学校英語研修会の開催回数	回	3	3	A	数学の基礎力の向上に向けた授業改善に取り組んでいる学校	校	64	64	A		
		指導運営費(スーパーグローバルハイスクール推進事業)【学校教育室】	560	大学・企業等の国内研修に参加した生徒数	人	40	40	A	小学校英語研修会に参加した教員数	人	40	146	A		

(2) 授業改善の推進と家庭学習の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	平成26年度		
						(H23)	(H24)	(H25)
206 わかりやすい授業の工夫・改善に計画的に取り組んでいる学校の割合	%	小 -	95	97	A	-	A	A
207		中 -	90	96	A	-	A	A
208		高 -	90	97	A	-	A	A
209 教員相互の参観等による授業改善に積極的に取り組んでいる学校の割合	%	小 58.1	80	85.5	A	-	D	A
210		中 45.5	80	80.4	A	-	D	A
211		高 -	75	90.7	A	-	A	A
212 授業内容の理解を促進する家庭学習の課題(宿題)を計画的に出している学校の割合	%	小 82	87	93	A	D	C	A
213		中 46	63	90	A	A	A	A
214		高 -	63	93	A	-	A	A

- わかりやすい授業の工夫・改善に計画的に取り組んでいる学校の割合は、小学校、中学校、高等学校のいずれも達成度は【A】となりました。
- 教員相互の参観等による授業改善に積極的に取り組んでいる学校の割合は、小学校、中学校、高等学校のいずれも達成度は【A】となりました。
- 授業内容の理解を促進する家庭学習の課題(宿題)を計画的に出している学校の割合は、小学校、中学校、高等学校のいずれも達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標					
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度				
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度		
		教職員研修費(授業力向上研修)【学校教育室】	6,250	校種ごと実施講座	講座	14	14	A	研修受講者の満足度	%	85	99	A		
		指導運営費(学力向上対策推進事業)【学校教育室】	15,396	調査分析の計画的な実施(調査システムの改善)率	%	100	100	A	◆システムによる分析を行った学校の割合	%	100	100	A		
		指導運営費(学力向上対策推進事業)【学校教育室】	15,396	学力調査等の実施(学年ごと、実施教科ののべ数)	教科	12	12	A	◆報告書を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A		
		すこやかサポート推進事業費【教職員課】	201,093	小学校で30人を超える学級を有し、少数加配のない学校への非常勤講師配置率	%	100	100	A	生徒指導面での改善率	%	90	96	A		
		指導運営費(理科観察・実験等指導力向上研修)【学校教育室】	822	14~16人複式学級への非常勤講師配置率	%	100	100	A	学習指導面での改善率	%	90	100	A		
		教職員費(学校生活サポート推進事業)【教職員課】	197,276	生徒指導面の課題に重点的に取り組む必要がある学校への非常勤講師等配置率	%	100	100	A	生徒指導面での改善率	%	85	98	A		
		指導運営費(理科観察・実験等指導力向上研修)【学校教育室】	822	学習指導面の課題に重点的に取り組む必要がある学校への非常勤講師等配置率	%	100	100	A	学習指導面での改善率	%	85	100	A		
		指導運営費(理科観察・実験等指導力向上研修)【学校教育室】	822	指導力向上研修開催回数	回	6	6	A	指導力向上研修を受講した教員数	人	80	137	A		

(3) 特色ある教育課程の編成

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
215 小学校と中学校との連携(小中連携、小中一貫)を推進するための方針や計画を作成している市町村数	市町村	2	33	33	A	A	A	A
216 各学校が設定した進路目標を達成した高等学校の割合	%	91	95	97	A	A	D	A

- 小学校と中学校との連携(小中連携、小中一貫)を推進するための方針や計画を作成している市町村数及び各学校が設定した進路目標を達成した高等学校の割合の達成度は【A】となりました。

(4) 「いわてキャリア教育指針」に基づくキャリア教育の実践

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
217 インターンシップ※3を実施した高等学校の割合	%	78.8	84.8	85.9	A	D	A	B
218 中学校における職場体験(2日以上)を実施した学校の割合	%	76.6	78.5	78.3	B	D	B	D

- インターンシップを実施した高等学校の割合の達成度は【A】となりました。
- 中学校における職場体験(2日以上)を実施した学校の割合の達成度は【B】となりました。

【用語解説】

※3 インターンシップ

生徒が在学中に、将来のキャリア(職業生活)に関連した就業体験を行うこと。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		いわて未来創造人サポート事業費【学校教育室】	8,998	職場見学・学校訪問等の進路指導実施校	校	27	27	A	◆事業目的の成果があった学校割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
	地域に係るものづくり体験学習実施校数			校	21	21	A	—	—	—	—		
	地域理解、世代・校種間交流活動実施校数			校	27	27	A	—	—	—	—		
		学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業費【学校教育室】	5,290	企業見学実施支援学校数	校	6	6	A	職場インターンシップを実施した高等学校の割合	%	84.8	85.9	A
		キャリアアップサポート推進事業費補助【学校教育室】	1,000	産業教育振興会への補助件数	件	1	1	A	産業教育振興会による支援件数	件	16	16	A

V 教育・文化

政策項目No.26：豊かな心を育む教育の推進

1 みんなで目指す姿

幼児児童生徒一人ひとりが心の教育や体験活動等を通じて、好ましい人間関係を築ける協調性や進んで人を助けるなどの基本的な道徳観を身に付け、学校に適応しながら、社会人として自立して生きていくための生活基礎力を身に付けています。

また、東日本大震災津波により、心にダメージを受けた子どもたちへの心のサポートが適切になされ、子どもたちが自己肯定感や基本的な道徳観を身に付けているほか、東日本大震災津波の経験を力にして、発災前よりもよい地域をつくっていくという大きな志を持って前向きに力強く活動しています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進	2	1,958	1,637	1,233	0	0	404
(2) 家庭・地域との協働の充実	1	3,545	3,477	0	0	0	3,477
(3) 教育相談機能の充実	1	11,577	11,119	11,119	0	0	0
(4) 幼児児童生徒の心のサポートの充実	5	304,491	299,553	294,827	1,641	0	3,085
(5) 情報モラル教育の推進	0	0	0	0	0	0	0

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

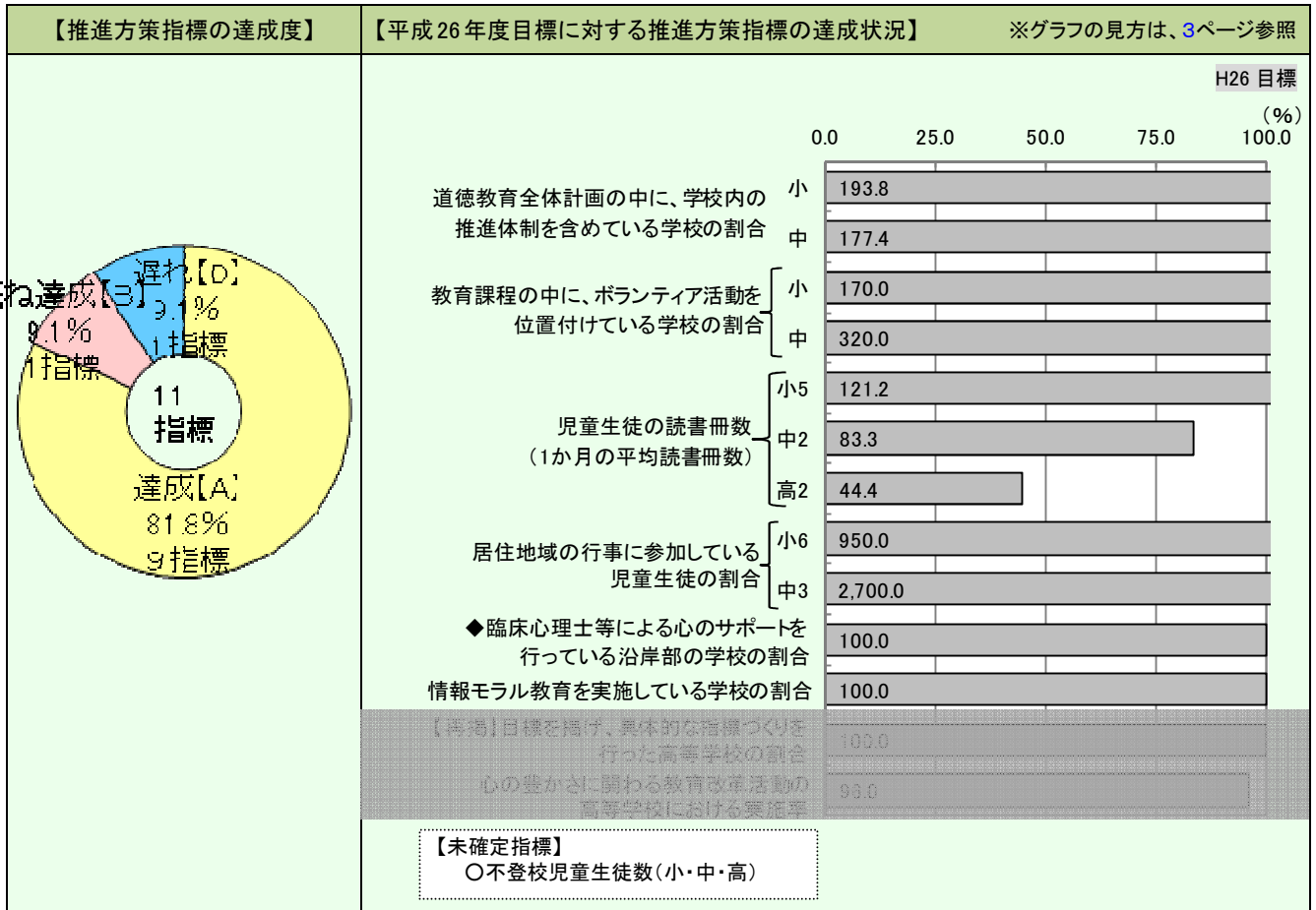
指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度			
						(H23)	(H24)	(H25)
59 自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合	%	56	60	65	A	—	A	A
60 「人が困っているときは、進んで助けている」と答えた児童生徒の割合	%	78	82	94	A	—	—	A

- 自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合及び「人が困っているときは、進んで助けている」と答えた児童生徒の割合の達成度は【A】となりました。
- 具体的な推進方策指標 16 指標は、達成度未確定の 3 指標を除き、「達成」・「概ね達成」が 12 指標 (92.3%)、「遅れ」が 1 指標 (7.7%) となりました。

特記事項

- 平成 27 年県民意識調査によると、「人間性豊かな子どもの育成」の重要度は 7 位、満足度は 18 位となり、ニーズ度は 13 位となっています。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
221 道徳教育全体計画の中に、学校内の推進体制を含めている学校の割合	%	小 38	70	100	A	—	A	A
222 教育課程の中に、ボランティア活動を位置付けている学校の割合		中 32	70	99.4	A	—	A	A
223 児童生徒の読書冊数(1か月の平均読書冊数)	冊	小5 10.0	13.3	14.0	A	B	B	A
224 道徳教育全体計画の中に、学校内の推進体制を含めている学校の割合		中2 3.6	4.2	4.1	B	A	A	C
225 教育課程の中に、ボランティア活動を位置付けている学校の割合		高2 1.6	2.5	2.0	D	D	D	D

- 道徳教育全体計画の中に、学校内の推進体制を含めている学校の割合及び教育課程の中に、ボランティア活動を位置付けている学校の割合は、小学校、中学校ともに達成度は【A】となりました。
- 児童生徒の読書冊数（1か月の平均読書冊数）は、小5の達成度は【A】、中2の達成度は【B】となりましたが、高校生は学業や部活動等で多忙であるとともに、読書活動に係る啓発の機会が少ない傾向にあるため、高2の達成度は【D】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		指導運営費(道徳教育推進事業)【学校教育室】	1,233	連絡協議会及び校内研究会の回数	回	4	4	A	啓発パンフレットの配布校数	校	514	514	A
	★	生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業)【生涯学習文化課】	404	読書ボランティア等研修会の回数(累計)	回	112	112	A	中学校2年生の読書者の割合	%	92	90	B
				-	-	-	-	-	学校における読書ボランティア活用割合	%	63	62.2	B

(2) 家庭・地域との協働の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
228 居住地域の行事に参加している児童生徒の割合	%	小6 81.2	81.6	85.0	A	—	D	A
229 徒の割合		中3 54.5	54.9	65.3	A	—	A	A

- 居住地域の行事に参加している児童生徒の割合は、小6、中3ともに達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標			
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
再雇	★	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業【生涯学習文化課】	(238,082)	学校支援地域本部数	本部	50	44	B	学校支援ボランティア数	人	6,000	8,129	A
				指導者等の研修会の開催回数(累計)	回	24	24	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	86.1	91	A
				学校、家庭、地域の連携による促進委員会の開催回数(累計)	回	16	16	A	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	19	19	A
				委託事業実施市町村数	市町村	30	30	A	—	—	—	—	—
	★	家庭教育推進費(家庭教育子育て支援推進事業)【生涯学習文化課】	3,477	子育て電話相談、メール相談窓口の開設日数	日	365	365	A	子育て相談ニーズへの対応件数(累計)	件	8,800	8,959	A

(3) 教育相談機能の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
230 不登校児童生徒数	人	小 130	110	—	—	D	D	D
231		中 840	800	—	—	A	A	A
232		高 880	790	—	—	A	A	A

- 不登校児童生徒数は、文部科学省が行う問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査が未了のため、実測値が測定できませんでした。

なお、不登校の未然防止や適切な対応を図るため、各教育事務所に配置しているスクールソーシャルワーカーの増員を行い、関係機関等と連携した福祉的な視点による教育相談体制の充実に取り組みました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標			
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
	★	児童生徒健全育成推進費(スクールソーシャルワーカー(SSW)配置事業)【学校教育室】	11,119	スクールソーシャルワーカーの配置人数	人	12	12	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A

(4) 幼児児童生徒の心のサポートの充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
233 臨床心理士等による心のサポートを行っている沿岸部の学校の割合	%	—	100	100	A	A	A	A

- 臨床心理士等による心のサポートを行っている沿岸部の学校の割合の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標			
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
	★	児童生徒健全育成推進費(スクールカウンセラー等配置事業)【学校教育室】	282,817	中学校のスクールカウンセラー配置校数	校	150	146	B	◆相談希望への対応率	%	100	100	A
				巡回型カウンセラーの配置	人	12	13	A	—	—	—	—	
				スーパーバイザーの派遣	箇所	6	6	A	—	—	—	—	
				大学チームによる支援	箇所	3	3	A	—	—	—	—	
		児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイヤル事業)【学校教育室】	3,543	電話相談窓口の設置・運営	対応	3	3	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A
				携帯カードの作成枚数	枚	148,000	148,000	A	—	—	—	—	

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
	★	児童生徒健全育成推進費(学校不適応総合対策事業)【学校教育室】	12,780	高校カウンセラーの配置人数	人	10	10	A	◆配置希望校への対応率(中学校)	%	100	100	A
				自立支援相談員の配置人数	人	2	2	A	◆配置希望校への対応率(高校)	%	100	100	A
				-	-	-	-	-	◆問題を抱える児童生徒への対応率	%	100	100	A
	★	児童生徒健全育成推進費(教育相談コーディネーター養成事業)【学校教育室】	294	教育相談に係わる長期研修修了者	人	9	6	C	学校心理士資格取得率	%	100	100	A
		児童生徒健全育成推進費(いじめ問題総合対策事業)【学校教育室】	119	いじめ問題に関する研修会開催回数	回	14	14	A	研修会へ教員を参加させた学校の割合	%	100	100	A

(5) 情報モラル教育の推進

◎具体的な推進方策指標

234	情報モラル教育を実施している学校の割合	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
							(H23)	(H24)	(H25)
		%	97	100	100	A	A	A	A

- 情報モラル教育を実施している学校の割合の達成度は【A】となりました。

V 教育・文化

政策項目No.27：健やかな体を育む教育の推進

1 みんなで目指す姿

児童生徒が自らの体力や健康に関心を持ち、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けることにより、体力の向上と心身の健康の保持増進を図っています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 体力向上や運動に親しむ環境づくり	1	7,351	6,685	6,685	0	0	0
(2) 健康教育の充実	0	0	0	0	0	0	0
(3) 指導者の資質向上・授業力向上	1	985	919	0	919	0	0

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度			
						(H23)	(H24)	(H25)
61 児童生徒の「体力・運動能力調査」の全国平均値以上の項目割合(小・中学校全学年)	%	73.6	80.0	51.4	D	D	D	D
62 児童の「定期健康診断」の肥満度が正常の範囲内と判定される児童の割合(小学校全学年)	%	87.4	89.0	88.2	D	A	D	D

- 児童生徒の「体力・運動能力調査」*の全国平均値以上の項目割合(小・中学校全学年)は、体力向上の取組の指導・支援により各学校では改善傾向にあるものの、本県平均値の伸び以上に全国平均値が著しく伸びたため、達成度は【D】となりました。(平成22年度と平成26年度の体力・運動能力調査を比較すると、本県平均値は144項目中66項目で伸びたのに対し、全国平均値は108項目が伸びました。)
- 児童の「定期健康診断」の肥満度が正常の範囲内と判定される児童の割合(小学校全学年)は、食育の推進や児童の望ましい生活習慣の確立に向けた支援などにより前年度からは改善しましたが、肥満等の要因は、食事、運動、生活習慣、親の意識など様々であるため、達成度は【D】となりました。
- 具体的な推進方策指標3指標は、「達成」が1指標(33.3%)、「やや遅れ」が1指標(33.3%)、「遅れ」が1指標(33.3%)となりました。

特記事項

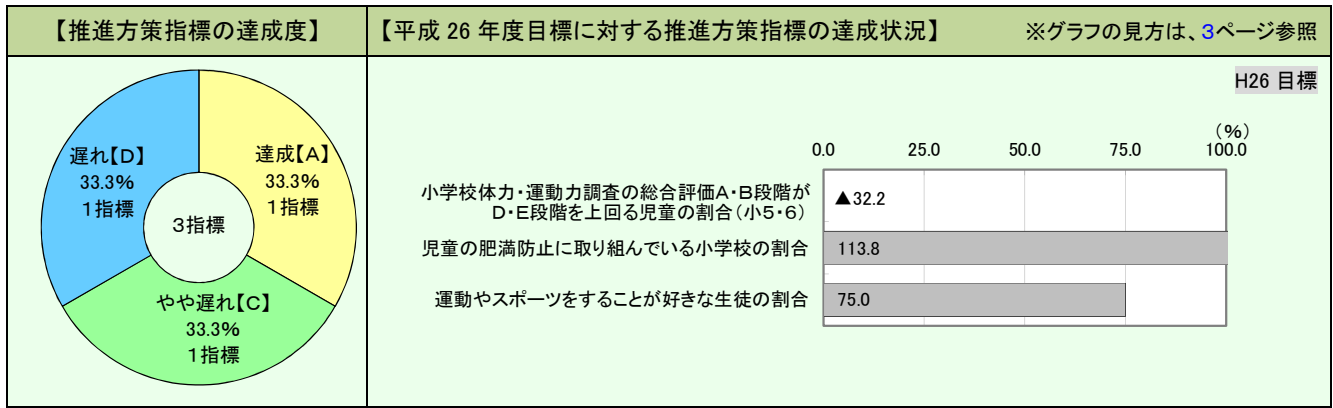
- 平成27年県民意識調査によると、「子どもの体力の向上」の重要度は14位、満足度は8位となり、ニーズ度は34位となっています。

【用語解説】

※ 体力・運動能力調査

通常は文部科学省が行う全国調査を指すが、本県では補完的に行っている独自調査を指している。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) 体力向上や運動に親しむ環境づくり

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
237 小学校体力・運動力調査の総合評価A・B段階がD・E段階を上回る児童の割合(小5・6)	%	24.6	30.5	22.7	D	D	D	D

- 小学校体力・運動力調査の総合評価A・B段階がD・E段階を上回る児童の割合(小5・6)は、児童を取り巻く生活習慣の変化により、運動習慣を身に付けている児童とそうでない児童の二極化が顕著であるとともに、各学校における児童の運動時間と機会を増やす取組にばらつきがあったため、達成度は【D】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
★		児童の体力向上推進事業【スポーツ健康課】	6,685	事業活用学校数	校	14	14	A	事業活用回数	回	126	95	C

(2) 健康教育の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
238 児童の肥満防止に取り組んでいる小学校の割合	%	85.3	96.9	98.5	A	A	A	B

- 児童の肥満防止に取り組んでいる小学校の割合の達成度は、【A】となりました。

(3) 指導者の資質向上・授業力向上

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
239 運動やスポーツをすることが好きな生徒の割合	%	83.5	87.5	86.5	C	—	D	D

- 運動やスポーツをすることが好きな生徒の割合は、教員の授業力や運動部活動等における指導力の向上を目指した事業を実施したものの、学校現場における研修成果の共有と実践にばらつきがあったため、達成度は【C】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		地域を活用した学校丸ごと子どもの体力向上推進事業【スポーツ健康課】	919	体育実技アシスタントの数	人	12	18	A	体育実技アシスタントの派遣学校数	校	12	12	A

V 教育・文化

政策項目No.28：特別支援教育の充実

1 みんなで目指す姿

障がいのある幼児児童生徒一人ひとりが教育的ニーズに応える支援体制のもとで、障がいのない子どもたちといきいきとした学校生活を送り、将来の自立に向けた「共に学び、共に育つ教育」が実現されています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 就学前及び小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実	2	36,003	35,200	371	127	0	34,702
(2) 特別支援学校における教育の充実	2	38,233	36,825	11,370	0	0	25,455
(3) 県民と協働した特別支援教育体制づくり	0	0	0	0	0	0	0
(4) 特別支援学校卒業生の就職支援	2	57,232	56,145	9,116	46,983	0	46

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度			
						(H23)	(H24)	(H25)
63 作成が必要な全ての児童生徒について「個別の教育支援計画」 ^{※1} を作成している学校の割合	%	38	100	81	C	C	D	D
64 特別支援学校高等部の就職希望者のうち、就職を達成した生徒の割合	%	92.0	94.0	99.0	A	D	A	A

- 作成が必要な全ての児童生徒について「個別の教育支援計画」を作成している学校の割合は、個別の教育支援計画を策定するために必要な外部関係機関との調整に時間を要したため、達成度は【C】となりました。
- 特別支援学校高等部の就職希望者のうち、就職を達成した生徒の割合の達成度は【A】となりました。
- 具体的な推進方策指標7指標は、「達成」・「概ね達成」が6指標(85.7%)、「やや遅れ」が1指標(14.3%)となりました。

特記事項

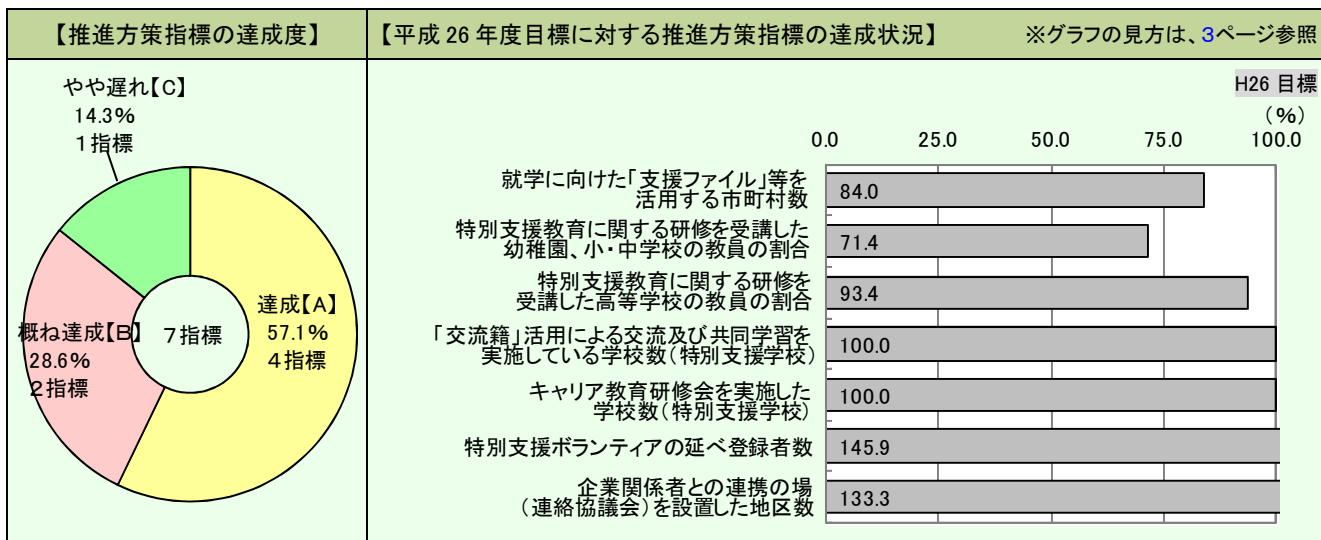
- 国においては、平成26年1月に「障害者の権利に関する条約」に批准しました。文部科学省では障がいのある子どもが障がいのない子どもと共に教育を受けるインクルーシブ教育システムの構築に向けた制度改革が始まっています。
- 平成27年県民意識調査によると、「全ての子どもが学べる環境」の重要度は15位、満足度は19位、ニーズ度は20位となっています。

【用語解説】

※1 個別の教育支援計画

教育サイドが主体となって作成する「個別の支援計画」。本人・保護者の参画や関係機関との連携により、継続した一貫性のある支援をねらいとして作成するもの。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) 就学前及び小・中学校、高等学校における特別支援教育の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
240 就学に向けた「支援ファイル」※2等を活用する市町村数	市町村	8	33	29	B	D	A	A
241 特別支援教育に関する研修を受講した幼稚園、小・中学校の教員の割合	%	58	100	88	C	D	B	B
242 特別支援教育に関する研修を受講した高等学校の教員の割合	%	39	100	96	B	A	B	B

- 就学に向けた「支援ファイル」等を活用する市町村数の達成度は【B】となりました。
- 特別支援教育に関する研修を受講した幼稚園、小・中学校の教員の割合は、これまで継続的に研修を実施していた学校が、過去に同様の研修を行っている等の理由により、昨年度は実施しなかったため、達成度は【C】となりました。
- 特別支援教育に関する研修を受講した高等学校の教員の割合の達成度は【B】となりました。

【用語解説】

※2 支援ファイル

「個別の支援計画」に関連する資料。「いわて特別支援教育推進プラン」において、幼児期からの円滑な就学に向けた相談支援のための資料として、作成、活用されるよう働きかけているもの。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プラン実践事業)【学校教育室】	1,543	巡回相談をした特別支援学校数	校	14	14	A	◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A
		特別支援教育推進事業費(特別支援教育がやきプラン推進事業)【学校教育室】	33,657	研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	50	50	A	研修会参加人数	人	1,500	1,500	A
				高等学校への支援員配置数	人	27	27	A	支援員配置に伴い成果のあった学校の割合	%	100	100	A

(2) 特別支援学校における教育の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
243 「交流籍」※3活用による交流及び共同学習を実施している学校数(特別支援学校)	校	2	(全校)14	14	A	A	A	A
244 キャリア教育研修会を実施した学校数(特別支援学校)	校	0	(全校)14	14	A	A	A	A

- 「交流籍」活用による交流及び共同学習を実施している学校数(特別支援学校数)及びキャリア教育

研修会を実施した学校数（特別支援学校）の達成度は【A】となりました。

【用語解説】

※3 交流籍

特別支援学校の小・中学部に在籍する児童生徒が居住する地域の小・中学校と交流や共同学習を円滑に行うことができるよう、関係を位置付けるための副次的な籍。他県では「副籍」や「支援籍」として実施している例もある。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		特別支援教育推進事業費(特別支援学校医療的ケア体制整備事業)【学校教育室】	35,900	看護師等研修会の開催	回	1	1	A	研修会参加看護師数	人	34	16	D
		特別支援教育推進事業費(特別支援学校スクールカウンセラー配置事業)【学校教育室】	925	特別支援学校へのカウンセラー派遣回数	回	60	56	B	◆看護師による医療的ケアの実施割合	%	100	100	A
		特別支援教育推進事業費(特別支援学校スクールカウンセラー配置事業)【学校教育室】	925	特別支援学校へのカウンセラー派遣回数	回	60	56	B	◆相談希望への対応率	%	100	100	A

(3) 県民と協働した特別支援教育体制づくり

◎具体的な推進方策指標

245	指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
							(H23)	(H24)	(H25)
	特別支援ボランティアの延べ登録者数	人	19	80	108	A	—	A	A

● 特別支援ボランティアの延べ登録者数の達成度は【A】となりました。

(4) 特別支援学校卒業生の就職支援

◎具体的な推進方策指標

246	指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
							(H23)	(H24)	(H25)
	企業関係者との連携の場(連絡協議会)を設置した地区数	地区数	0	6	8	A	A	A	A

● 企業関係者との連携の場(連絡協議会)を設置した地区数の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		特別支援教育推進事業費(特別支援学校キャリア教育推進事業)【学校教育室】	9,190	企業との連携協議会対象校数	校	9	9	A	現場実習及び企業との連携協議会を実施した対象校の割合	%	100	100	A
雇		教職員人事管理費(障がい者雇用促進対策事業)【学校教育室、教職員課】	46,955	特別支援学校卒業生の雇用人数	人	11	5	D	本事業を利用して一般企業に就労した者の割合	%	40	40	A

V 教育・文化

政策項目No.29：生涯を通じた学びの環境づくり

1 みんなで目指す姿

県民一人ひとりが生涯にわたって自己実現を目指し、多様な機会を通じて学び、その学びの成果を生かすことが、生きがいづくりにつながり心豊かな生活になるとともに、郷土いわてに誇りを持ち愛着を深めています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) 学習活動を支援する環境の充実	0	0	0	0	0	0	0
(2) 生涯にわたる学習機会の充実	0	0	0	0	0	0	0

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度			
						(H23)	(H24)	(H25)
65 生涯学習リーダー※1登録者数(累計)	人	614	720	730	A	D	A	A

- 生涯学習リーダー登録者数(累計)の達成度は【A】となりました。
- 具体的な推進方策指標4指標は、「達成」が3指標(75%)、「やや遅れ」が1指標(25%)となりました。

特記事項

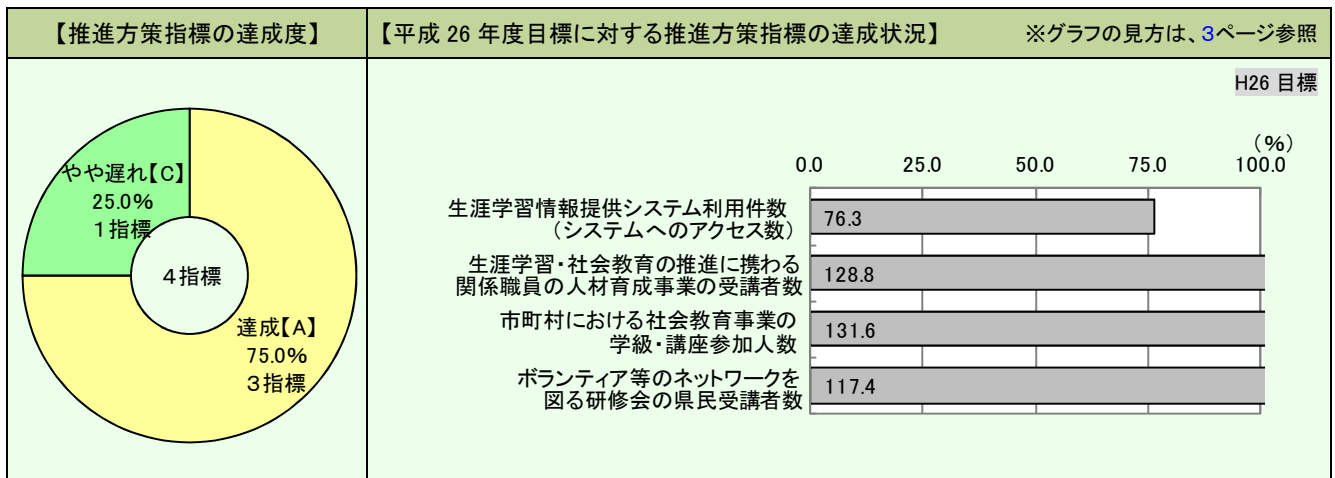
- 平成27年県民意識調査によると、「自分に適した内容や方法で学べる環境」の重要度は31位、満足度は23位となり、ニーズ度は35位となっています。

【用語解説】

※1 生涯学習リーダー

教養・文化、スポーツ・健康、ビジネスライフ、パソコン、学術一般、現代的課題の各分野において、生涯学習を推進する指導者として県立生涯学習推進センターに登録され、かつ県民に社会教育事業の活用を奨励している方。

3 目指す姿を達成するための取組(県の具体的な推進方策)



(1) 学習活動を支援する環境の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
247 生涯学習情報提供システム※2利用件数 (システムへのアクセス数)	件	30,778	31,067	23,710	C	A	A	A
248 生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の受講者数	人	2,867	2,900	3,734	A	A	A	B

- 生涯学習情報提供システム利用件数（システムへのアクセス数）については、市町村のホームページや広報等による生涯学習に係る講座・イベント等の情報提供が充実したことにより、当該生涯学習情報提供システムへの講座・イベント等の掲載が減少したため、達成度は【C】となりました。
- 生涯学習・社会教育の推進に携わる関係職員の人材育成事業の受講者数の達成度は【A】となりました。

【用語解説】

※2 生涯学習情報提供システム

県が推進する生涯学習施策及び社会教育施策の紹介や事例をはじめ、市町村における各事業等、県民に対し生涯学習に係る情報を提供するホームページ。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標			
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
再	★	家庭教育推進費(家庭教育子育て支援推進事業)【生涯学習文化課】	(3,477)	子育て電話相談、メール相談窓口の開設日数	日	365	365	A	子育て相談ニーズへの対応件数(累計)	件	8,800	8,959	A
再履	★	学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業【生涯学習文化課】	(238,082)	学校支援地域本部数	本部	50	44	B	学校支援ボランティア数	人	6,000	8,129	A
				指導者等の研修会の開催回数(累計)	回	24	24	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	86.1	91.0	A
				学校、家庭、地域の連携による促進委員会の開催回数(累計)	回	16	16	A	中高生の学習支援設置箇所数	箇所	19	19	A
				委託事業実施市町村数	市町村	30	30	A	-	-	-	-	-

(2) 生涯にわたる学習機会の充実

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
249 市町村における社会教育事業の学級・講座参加人数	千人	㉑ 500	㉕ 500	㉕ 658	A	A	A	A
250 ボランティア等のネットワークを図る研修会の県民受講者数	人	800	805	945	A	A	A	A

- 市町村における社会教育事業の学級・講座参加人数及びボランティア等のネットワークを図る研修会の県民受講者数の達成度は【A】となりました。

V 教育・文化

政策項目No.31：文化芸術の振興

1 みんなで目指す姿

多彩な本県の文化芸術が生まれ、創造・継承されるとともに、人々が文化芸術に触れ、活動・鑑賞する機会が増えています。

また、郷土の誇りと愛着をもたらす歴史遺産や伝統文化が保存継承され、その価値が広く内外に発信されています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(3) 豊かな創造性のかん養と文化芸術活動への支援	4	15,851	15,784	0	0	0	15,784
(4) 文化財の保存管理と活用の推進	2	398,667	378,060	116,644	46,241	0	215,175
(5) 世界遺産登録及び平泉文化研究の推進	4	33,791	32,298	1,922	5,141	0	25,235
(6) 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携	1	3,034	2,970	0	0	0	2,970
(7) 被災地における文化芸術活動支援	2	6,595	4,911	1,566	1,779	0	1,566

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

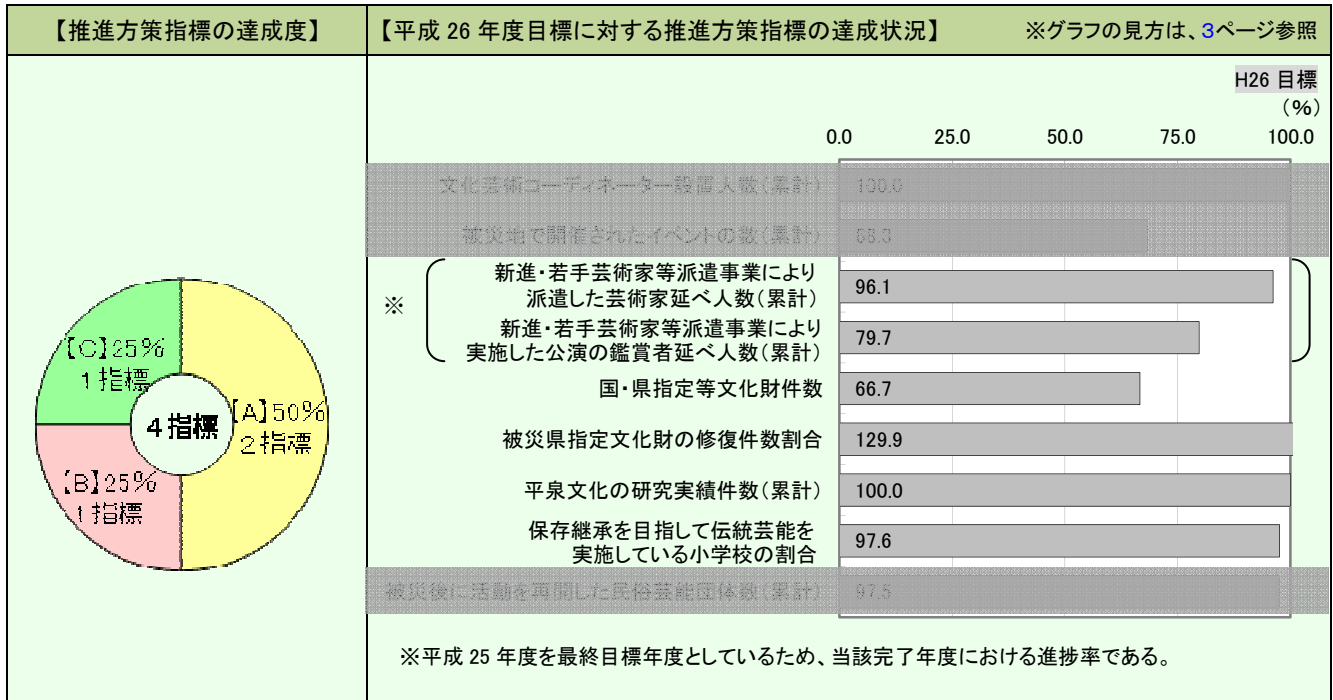
指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度			
						(H23)	(H24)	(H25)
68 民俗芸能ネットワーク加盟団体数	団体	343	380	400	A	A	A	A

- 県内の公立文化施設における催事数及び民俗芸能ネットワーク加盟団体数の達成度は【A】となりました。
- 具体的な推進方策指標7指標は、「達成」・「概ね達成」が5指標(71.4%)、「やや遅れ」が2指標(28.6%)となりました。

特記事項

- 平成27年県民意識調査によると、「郷土愛の向上に向けた取組」の重要度は43位、満足度は9位で、ニーズ度は42位となっています。また、「地域や学校での文化芸術活動」の重要度は44位、満足度は2位で、ニーズ度は46位となっています。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的推進方策）



(3) 豊かな創造性のかん養と文化芸術活動への支援

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値(H22)	計画目標値(H26)	実績値(H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
259 新進・若手芸術家等派遣事業により派遣した芸術家延べ人数(累計)	人	163	—	782	—	B	A	B
260 新進・若手芸術家等派遣事業により実施した公演の鑑賞者延べ人数(累計)	人	2,881	—	10,108	—	A	C	C

- 新進・若手芸術家等派遣事業により派遣した芸術家延べ人数（累計）は、前年度から 122 人増加し 782 人となりました。
- 新進・若手芸術家等派遣事業により実施した公演の鑑賞者延べ人数（累計）は、前年度から 1,550 人増加し 10,108 人となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額(千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
★		芸術文化振興事業費(青少年芸術普及事業)【生涯学習文化課】	3,564	青少年劇場(本公演)の開催回数	回	22	22	A	公演の鑑賞者数	人	10,427	10,324	B
				青少年劇場(小公演)の開催回数	回	4	3	C	公演の鑑賞者数	人	30	119	A
★		芸術文化振興事業費(高校生文化活動支援事業)【生涯学習文化課】	9,320	セミナーサポート事業回数	回	26	24	B	全国高総文祭団体入賞者数	団体	2	5	A
				—	—	—	—	—	全国高総文祭個人入賞者数	人	1	1	A
★		芸術文化振興事業費(若手県中学校文化連盟補助)【生涯学習文化課】	1,352	県中総文祭実施回数	回	1	1	A	全国中文祭派遣団体数	団体	1	1	A
				—	—	—	—	—	全国中文祭派遣個人数	人	20	22	A
★		国際文化交流支援事業費【若者女性協働推進室】	1,548	補助事業実施団体数	団体	2	2	A	国際文化交流イベント実施件数	件	2	2	A

(4) 文化財の保存管理と活用の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
261 国・県指定等文化財件数	件	601	640	627	C	D	D	C
262 被災県指定文化財(修復対象 22 件)の修復件数割合	%	—	70.0	90.9	A	A	A	A

- 国・県指定等文化財件数は、指定等に向けた調査を進めましたが、案件により調査の内容・時間が異なるため年度によって指定件数にばらつきが生じ、昨年度は、調査が整い指定まで至ったものが5件にとどまったため、達成度は【C】となりました。
- 被災県指定文化財(修復対象 22 件)の修復件数割合の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
	★	文化財保護推進費(被災ミュージアム再興事業)【生涯学習文化課】	233,298	市町村への委託数	件	4	4	A	仮設収蔵庫整備数累計	棟	13	13	A
	★	遺跡調査事業費(遺跡調査事業)【生涯学習文化課】	144,762	国、県の公共事業に係る埋蔵文化財調査事業数	件	4	4	A	市町村が行う埋蔵文化財調査への支援件数	件	6	5	B
				市町村公共事業に係る埋蔵文化財調査に対する支援を行う市町村数	市町村	8	5	C	—	—	—	—	—

(5) 世界遺産登録及び平泉文化研究の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
263 平泉文化の研究実績件数(累計)	件	3	15	15	A	A	A	A

- 平泉文化の研究実績件数(累計)の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		文化財保護推進費(平泉文化研究機関整備推進事業)【生涯学習文化課】	2,578	共同研究の実施件数	件	6	6	A	共同研究成果の論文数	本	6	6	A
				平泉文化フォーラムの開催回数	回	1	1	A	平泉文化フォーラムの参加者数	人	400	450	A
				研究年報の発行回数	回	1	1	A	—	—	—	—	—
		世界遺産登録推進事業費(縄文遺跡群世界遺産登録推進事業)【生涯学習文化課】	6,705	「学会会議」開催費用の負担	式	1	1	A	「学会会議」の開催	回	1	1	A
		世界遺産登録推進事業費(平泉世界遺産登録推進事業)【生涯学習文化課】	13,679	「平泉授業」の実施回数	回	20	30	A	「平泉授業」の受講者数	人	1,000	1,120	A
		世界遺産登録推進事業費(近代化産業遺産群世界遺産登録推進事業)【生涯学習文化課】	9,336	関係各種会議参加費用の負担	式	1	1	A	関係各種会議への参加回数	回	6	6	A

(6) 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
264 保存継承を目指して伝統芸能を実施している小学校の割合	%	69.1	70.0	68.3	B	—	D	—

- 保存継承を目指して伝統芸能を実施している小学校の割合の達成度は【B】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標			成果指標						
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		文化財保護推進費(民俗芸能伝承促進事業)【生涯学習文化課】	2,970	民俗芸能フェスティバルの開催回数	回	1	1	A	民俗芸能フェスティバル鑑賞者数	人	600	750	A

(7) 被災地における文化芸術活動支援

◎推進方を構成する事業実績

復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標				
			指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度			
					計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度	
★	【被災地支援】	12,859	【被災地支援】	【被災地支援】	【被災地支援】	【被災地支援】	【被災地支援】	【被災地支援】	【被災地支援】	【被災地支援】	【被災地支援】	【被災地支援】	【被災地支援】
★	いわての学び希望基金被災地児童生徒文化活動支援事業費補助【生涯学習文化課】	1,779	中文祭参加補助団体数	団体	2	1	D	中文祭参加補助者数	人	50	12	D	
			高文祭参加補助団体数	団体	30	38	A	高文祭参加補助者数	人	500	181	D	
			高校生セミナーサポート参加補助団体数	団体	15	13	B	高校生セミナーサポート参加補助者数	人	200	38	D	
			吹奏楽・合唱コンクール県大会等参加補助団体数	団体	20	18	B	吹奏楽・合唱コンクール県大会等参加補助者数	人	300	129	D	
★	震災復興支援あーとキャラバン実施事業費【生涯学習文化課】	3,132	あーとキャラバン開催回数	回	4	4	A	あーとキャラバン参加者数	人	400	417	A	

V 教育・文化

政策項目No.33：豊かなスポーツライフの振興

1 みんなで目指す姿

県民一人ひとりが、それぞれのライフステージやライフスタイルに応じてスポーツを楽しむことができる環境が整い、誰もが「する、みる、ささえる」スポーツに親しむ機会や場が増えています。

また、平成 28 年に本県で開催される国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会を、東日本大震災津波からの復興のシンボルと位置付け、開催に向けて、選手強化はもとより、「県民」、「企業」、「団体」等との協働を基本とした、様々な新しい取組が行われています。

2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(1) スポーツの環境づくりと地域に根ざしたスポーツ振興の推進	1	3,049	2,914	0	9	0	2,905
(2) 中長期的な視点に立った選手育成や指導者養成の推進	9	426,602	415,024	0	24,445	0	390,579
(3) スポーツ医・科学サポート体制の充実	1	19,852	18,553	0	0	0	18,553
(4) 岩手国体等の開催に向けた県民参加の促進	1	347,572	341,084	89,245	250,891	0	948

※ 再掲事業の予算額等は除いて集計しています。

◎目指す姿指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度			
						(H23)	(H24)	(H25)
71 スポーツ実施率※ ¹ (週1回以上のスポーツ実施率)	%	38.1	52	52.8	A	A	A	B
72 国民体育大会天皇杯得点順位	位	33	12	37	D	A	D	C

- スポーツ実施率（週1回以上のスポーツ実施率）の達成度は【A】となりました。
- 国民体育大会天皇杯得点順位は、個人競技は平成 25 年の国体を上回る成績を残したものの、団体競技で上位入賞数が減り大きく成績を落としたため、達成度は【D】となりました。
- 具体的な推進方策指標 4 指標は、「達成」が 3 指標（75.0%）、「遅れ」が 1 指標（25.0%）となりました。

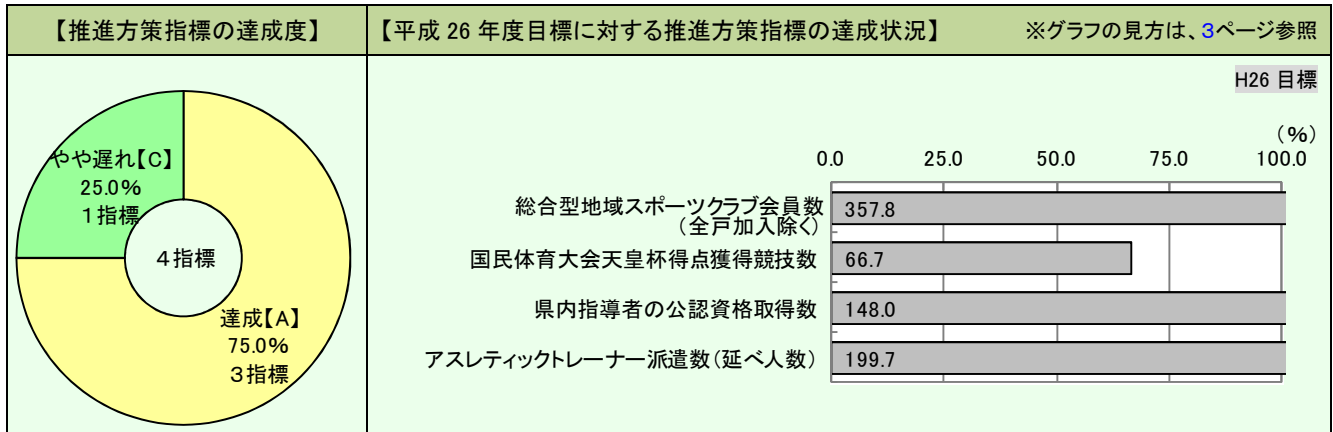
特記事項

- 平成 27 年県民意識調査によると、「県出身スポーツ選手の活躍」の重要度は 42 位、満足度は 3 位となり、ニーズ度は 45 位となっています。

【用語解説】

- ※1 スポーツ実施率
週1回以上スポーツをした成人の割合。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(1) スポーツの環境づくりと地域に根ざしたスポーツ振興の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
270 総合型地域スポーツクラブ会員数(全戸加入除く)	人	5,200	6,400	9,494	A	D	A	A

- 総合型地域スポーツクラブ会員数(全戸加入除く)の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標			
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
	★	生涯スポーツ推進費(生涯スポーツ推進プラン)(スポーツ健康課)	2,914	広域スポーツセンター指導員派遣市町村数	市町村	33	19	D	派遣延べ回数	回	46	38	B

(2) 中長期的な視点に立った選手育成や指導者養成の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	達成度		
						(H23)	(H24)	(H25)
271 国民体育大会天皇杯得点獲得競技数	競技	19	30	20	C	A	D	B
272 県内指導者の公認資格取得数	人	2,196	2,400	2,498	A	A	A	A

- 国民体育大会天皇杯得点獲得競技数は、新たに3競技が得点を獲得したものの、4競技が得点を失ったため、達成度は【C】となりました。
- 県内指導者の公認資格取得数の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標						成果指標			
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		岩手県高等学校体育連盟補助(スポーツ健康課)	12,486	全国高校総体出場競技数	競技	33	32	B	全国高校総体への派遣人数	人	912	786	B
		岩手県中学校体育連盟補助(スポーツ健康課)	4,904	全国中学校体育大会出場競技数	競技	20	15	C	全国中学校体育大会への派遣人数	人	351	244	C
	★	いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援事業費補助(スポーツ健康課)	24,437	県中総体・新人大会出場競技数	競技	21	18	B	県中総体・新人大会出場補助者数	人	486	464	B
				県高総体・新人大会出場競技数	競技	48	24	D	県高総体・新人大会出場補助者数	人	1,752	1,593	B
				東北中学校体育大会出場競技数	競技	9	4	D	東北中学校体育大会出場補助者数	人	53	13	D
				東北高校選手権大会出場競技数	競技	16	17	A	東北高校選手権大会出場補助者数	人	152	66	D
				全国中学校体育大会出場競技数	競技	6	1	D	全国中学校体育大会出場補助者数	人	32	2	D
				全国高校総体出場競技数	競技	13	7	D	全国高校総体出場補助者数	人	103	18	D
		競技力向上対策事業費(いわてアスリート強化事業費)(スポーツ健康課)	68,126	強化事業実施競技延べ団体数	団体	162	162	A	強化事業参加人数	人	2,030	5,596	A

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		競技力向上対策事業費(全国大会派遣費)【スポーツ健康課】	33,669	全国高校総体及び全国中学校体育大会出場競技数	競技	53	47	B	全国高校総体及び全国中学校体育大会への派遣人数	人	1,263	1,030	B
		体育大会開催・派遣事業費(東北大会派遣費)【スポーツ健康課】	34,254	東北総合体育大会選手派遣競技数	競技	37	37	A	東北総合体育大会選手派遣人数	人	972	966	B
		競技力向上対策事業費(いわてスーパーキッズ発掘・育成事業)【スポーツ健康課】	11,997	体カテスト(チャレンジ2)の開催回数	回	7	7	A	体カテスト(チャレンジ2)参加児童数	人	700	203	D
				スペシャルスクールの開催回数	回	38	38	A	スペシャルスクール参加児童数	人	2,600	2,200	B
雇		第71回国民体育大会選手強化事業費【スポーツ健康課】	218,656	強化練習会・遠征合宿実施競技団体	団体	40	40	A	強化練習会・遠征合宿参加人数	人	4,800	9,850	A
		第16回全国障害者スポーツ大会選手育成強化事業費【障がい保健福祉課】	6,495	選手強化練習等の開催	回	52	52	A	選手強化練習等参加者数	人	416	416	A

(3) スポーツ医・科学サポート体制の充実

◎具体的な推進方策指標

区分	指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度	平成26年度		
							(H23)	(H24)	(H25)
273	アスレティックトレーナー※2派遣数(延べ人数)	人	154	452	749	A	A	A	A

- アスレティックトレーナー派遣数(延べ人数)の達成度は【A】となりました。

【用語解説】

※2 アスレティックトレーナー
スポーツ現場における選手に対するサポートスタッフ(傷害予防等)。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		スポーツ健康科学サポート推進事業【スポーツ健康課】	18,553	サポートする団体数	団体	50	77	A	サポート件数	件	450	749	A

(4) 岩手国体等の開催に向けた県民参加の促進

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		第71回国民体育大会※2(岩手県)障害者スポーツ大会開催準備費【総務課】	30,400.7	委員会・企業協賛の申請業務	件	100	220	A	委員会・企業協賛金額	百万円	210	260	C
		第71回国民体育大会※2(岩手県)市町村競技場整備費【総務課】	2,423.3	専門委員会等の開催	回	0	54	A	市町村競技場整備費	百万円	0	26	E
		国体関連競技施設整備事業費【スポーツ健康課】	341,084	整備施設数	箇所	3	3	A	施設の整備率	%	100	100	A

VII 社会資本・公共交通・情報基盤

政策項目No.38：安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備

1 みんなで目指す姿

東日本大震災津波により市街地等が被災した沿岸地域では、「多重防災型」の復興まちづくりとともに、湾口防波堤や防潮堤などの津波防災施設の復旧・整備や、津波から安全かつ適確に避難するためのソフト施策などによる防災都市・地域づくりが進んでいます。

地震や洪水、土砂災害などから県民の生命・財産を守る災害防止施設の整備や、県民が不測の事態に対応して自ら適切に判断し行動できるようにするためのソフト施策が進んでいます。

災害時の緊急輸送や地域医療を支援する信頼性の高い道路ネットワークの構築、通学路への歩道整備、住宅や学校施設及び医療機関の耐震化など、日常の生活を支える社会資本の整備が進んでいます。

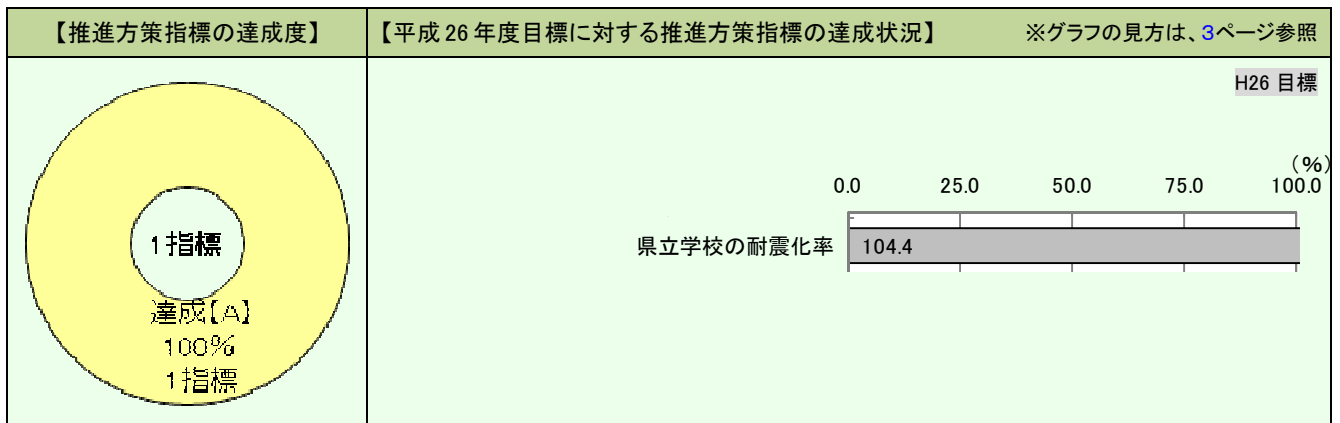
2 政策項目の状況

◎投入コスト

具体的な推進方策	事業数	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額の財源内訳			
				国庫	その他	県債	一般
(2) 地震・洪水・土砂災害対策の推進	4	3,889,683	3,812,538	2,211,187	624,494	41,800	935,057

- 教育委員会が所管する具体的な推進方策指標 1 指標は、「達成」となりました。

3 目指す姿を達成するための取組（県の具体的な推進方策）



(2) 地震・洪水・土砂災害対策の推進

◎具体的な推進方策指標

指標名	単位	現状値 (H22)	計画目標値 (H26)	実績値 (H26)	達成度			
						(H23)	(H24)	(H25)
319 県立学校の耐震化率	%	86.0	97.3	97.8	A	C	C	B

- 県立学校の耐震化率の達成度は【A】となりました。

◎推進方策を構成する事業実績

区分	復興計画関連	事業名	決算額 (千円)	活動内容指標					成果指標				
				指標名	単位	平成26年度			指標名	単位	平成26年度		
						計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
		校舎大規模改造事業費(校舎大規模改造事業)【教育企画室】	112,990	学校施設の耐震化	箇所	4	5	A	県立学校の耐震化率	%	97.3	98	A
		校舎大規模改造事業費(屋内運動場大規模改造事業)【教育企画室】	24,185	学校施設の耐震化	箇所	2	2	A	県立学校の耐震化率	%	97.3	97.8	A
	★	学校施設災害復旧事業費【教育企画室】	1,072,355	県立学校施設の災害復旧	箇所	1	1	A	復旧完了施設数	箇所	1	1	A
	★	学校施設災害復旧事業費(県立高田高等学校災害復旧事業)【教育企画室】	2,603,008	県立学校施設の災害復旧	箇所	1	1	A	復旧完了施設数	箇所	1	1	A